



飯島 衛 議員

読書による認知症予防の取り組みを

答 高齢者向けの本やCD、DVDの充実を図りたい

問 認知症の高齢者が2025年には470万人になるといわれている。その予防に読書が有効との研究発表があるが、まちなも取り組んでどうか。

答 町長 図書館では、お年寄りが読みやすいような大きな文字の本を

約460冊常備している。高齢者向けの演歌、時代劇、落語などのDVDやCDも今後増やしていきたい。健康福祉課長 地域でサロン事業を行っているが、読書についても取り入れられたいと思っている。

問 県内で有数の人口増加のまちをアピールするために、キャラクターおよびマイナンバー（原動機付き自転車）の設置をしようか。

答 町長 まちは物産やイベントなどの充実を図ることが優先と考えている。必要となれば検討したい。

不登校の児童生徒のまちな対策は

「ふれあい教室」で学校教育指導員が親身な指導をしている

問 県内では25年度の小学生の不登校の子が約1700人いるが、まちな現状および、対策はどうか。

答 町長 まちなでも、不登校で悩んでいる子がいる。コミュニケーションセンターに「ふれあい教室」を設置し、1日も早く学校

に帰れるように支援をしている。教育委員会事務局長

心のよりどころとなる場所として「ふれあい教室」を設置しており、教職を退職した人が学校教育指導員として、子どもの状況に応じて人間関係づくり、学力

向上の支援を行っている。

この春、通っていた子どもが全員進学できたという成果もあげている。

問 いじめの対策はどうしているか。

答 町長 早期にいじめを防止することを心掛け、「問題が発生しない学校風土をつくる」という考え方にたち、生命、人権

問 コンビニでの証明書の交付など、検討しては。

答 町民生活課長 今のところ費用、および経費の問題で導入は考えていない。



大活字本コーナー（吉岡町図書館）



ふれあい教室（吉岡町コミュニティセンター）



金谷重男 議員

自然災害時に、南下防災公園は避難場所に適するの か 答 一番の防災の基点になる場所だ

問

広島県の豪雨による土砂災害はまちでも起こりうる。こういった災害の場合、防災公園が地域防災の拠点になるのか。地域の集会所が地域防災の拠点になるのでは。

答

町長 南下城山防災公園が一番の防災の基点になる場所だ。整備は

進めていく。

問

災害の場合には防災公園のヘリポートにオスプレイ使用も想定しているのか。

答

町長 県や自衛隊が持つことになれば、災害時にはオスプレイは降るだろう。

問

国の借金1千兆円のうち200兆円が地方の「臨財債」だといわれているが。

答

財務課長 臨時財政対策債は、地方交付税の不足分を国債に頼らず、地方が借金により補てんするもので、平成13年から15年までの時限的措置だったが現在まで続いている。

問

ごみ業務委託が競争入札から随意契約になったが。

答

町民生活課長 3業者が1組合の1業者

問

になつたため。財政が厳しい中、町民の要望が聞こえてくる。通学路に電灯がなくなる。危険だとか、中学の部活動で隣村の施設を借用しているとか、まちは実情を把握しているのか。来年度予算の編成も始まるが、町長は町民の声をどうくみとるのか。

答

町長 町民の声は十分聴いている。27年度予算にも要望を反映させたい。

3人目以降の子どもにも支援した 場合の試算は

保育料を無料にした場合は、 1697万円になる

問

安倍首相は、3人目以降の子どもに大胆な支援を行うといっている。まちなを例に試算した場合は、

答

町長 保育料だけでも26年度の場合、第3子以降を無料にした場合は、1697万円、学童保育は10人ほどで、利用料は66万円になる。国や県の動向を見守りたい。

問

議会予算が1億円を越え一般会計に占める議会費の比率は1・7%

答

町長 決算委員会の説明、承認ひとつにしても議会視察の成果を参考にしている。



エンゼル表彰 (敬老福祉大会)



ドクターヘリ 緊迫した救急治療